

平成30年度 第5回 高知支部評議会

資料 2

議題2 平成31年度予算(案)について

平成31年 1月17日

支部保険者機能強化予算の概要

◀ 現行の支部の予算の概要 ▶

- 協会の予算（業務経費等の事務費）は、ジェネリック医薬品の軽減額通知や健診費用の補助等の費用に充てる本部で扱う予算のほか、支部で扱う予算がある。この支部で扱う予算については、以下の3つに大別できる。
 - ① 審査医師への謝金や支部事務室賃料など、支部の基本的な業務運営に必要な予算（基礎的業務関係予算）
 - ② 医療費適正化対策や広報・意見発信など、地域の実情等を踏まえた取組を推進するために必要な予算（特別計上関係予算）
 - ③ 受診勧奨対策や重症化予防対策など、保健事業における重点的な取組を推進するために必要な予算（保健事業予算）
- このうち、②の特別計上関係予算については、支部の裁量により予算を増額することもできたが、予算枠を超えた分については、支部保険料率（都道府県単位保険料率）に直接的に反映させる仕組みとしていた。

◀ 問題点 ▶

- ②の特別計上関係予算については、協会発足時に策定された仕組みであるが、現在の協会の基本方針である医療費適正化等の保険者機能の推進に積極的な支部ほど支部保険料率が上昇するリスクがあり、各種取組に消極的にならざるを得ない部分もあった。
- ③の保健事業予算については、措置対象が年々追加され、予算の枠組みについても分野毎に分かれているなど、本部・支部ともに事務処理が煩雑となっていた。

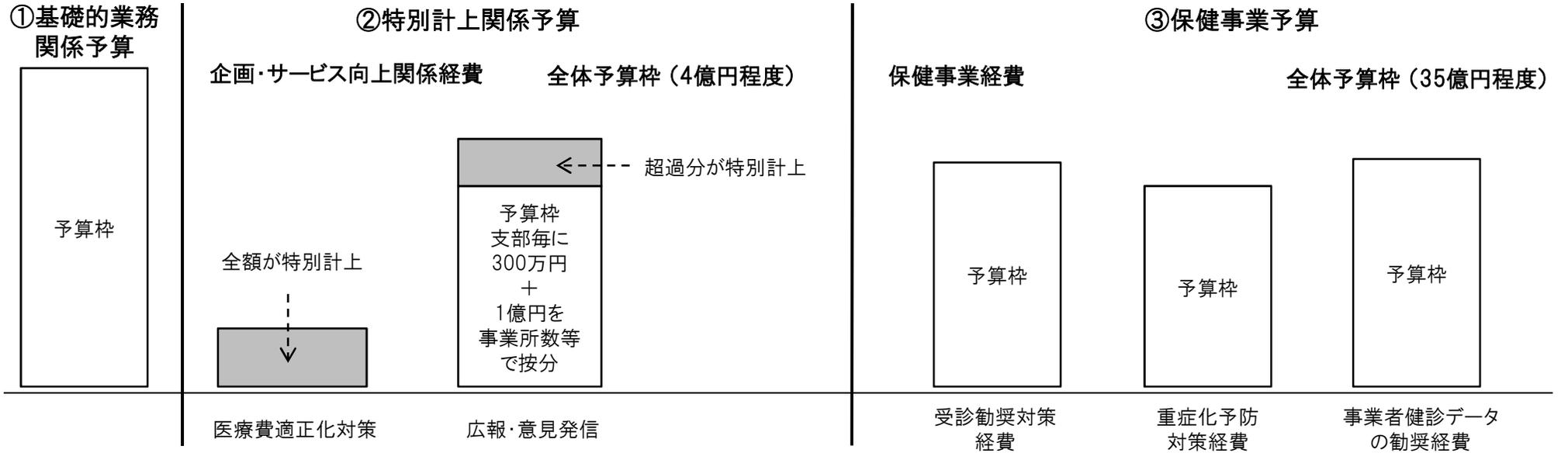
◀ 平成31年度からの支部の予算体系 ▶

➤ 医療費適正化等の保険者機能を発揮するべきとの支部評議会でのご意見も踏まえ、平成31年度から支部の予算について、新たな予算体系へと変更する。

- 平成31年度からは、特別計上関係予算については廃止し、①基礎的業務関係予算、②支部医療費適正化等予算、③支部保健事業予算の予算体系へと変更する。
- このうち、②及び③の予算については、「支部保険者機能強化予算」として、予算の枠組みとしては一本化するなど支部が扱いやすいものとした上で、協会の将来的な医療費の節減につなげていくことを目的に、支部の予算額についても拡充する。

《見直しのイメージ》

これまでの予算体系

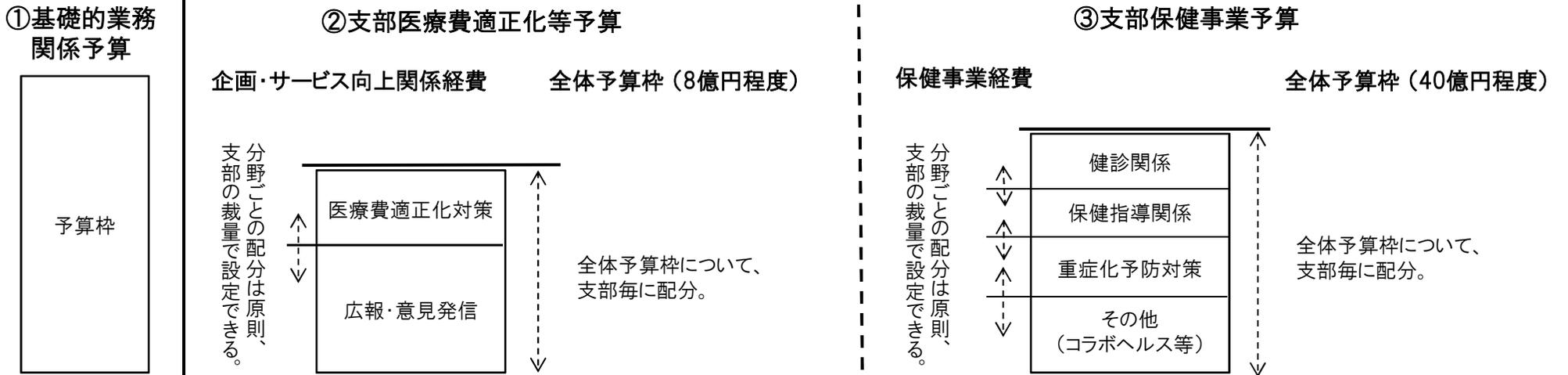


見直し

※ 上記予算分野は一例であり、実際はこれ以外の分野もあります。

これからの予算体系

支部保険者機能強化予算



平成31年度高知支部独自事業①(医療費適正化対策事業)

1. 医療費適正化対策事業

	事業名	概要	期待効果	予算額
新規	ジェネリック医薬品使用状況の毎月分析と可視化ツールの活用	80%目標の早期達成に向け、毎月の使用状況の把握とともに、ツールを用いた医療機関や薬局への働きかけを通じて使用割合の向上を目指す。	切り替えにより使用割合の向上が期待できる医薬品目を、具体的に提示することが可能となる。	2,648,800 円
継続	医薬品の多剤・重複服薬者への案内通知	高知県や他保険者と連携して、対象者向けに医薬品の適正使用に関する案内通知を送付する。	お薬手帳の一元化やかかりつけ薬局の利用促進を通じて、医薬品の適正使用を目指す。	3,630,000 円
新規	保険証適正使用促進ポスターの作成	資格喪失後受診に伴う返納金を抑制するため、県や関係団体と連携した保険証の適正使用の周知を拡大する。	加入者に対しては保険証の使用期限や無効証の早期回収について訴求でき、医療機関に対しては、受診の都度保険証を確認する意義を認識してもらえる。	223,776 円
			合計	6,503 千円

平成31年度高知支部独自事業②(医療費適正化対策事業)

2. 紙媒体による広報

	事業名	概要	期待効果	予算額
継続	協会けんぽのお知らせ	事業所に毎月送付される社会保険料納入告知書に、協会けんぽからのチラシを同封する。	健康保険の各種事業や、健康づくりに対する理解が得られる。	1,281,840 円
継続	退職後の健康保険加入案内	窓口配布用のリーフレット	任意継続制度の理解が得られる。	52,920 円
新規	健康企業宣言事業所向けリーフレット	宣言事業所向けリーフレット	宣言後に、具体的な取り組みを継続的に推進してもらえる。	115,350円
合計				1,450 千円

平成31年度高知支部独自事業③(医療費適正化対策事業)

3. その他の広報

	事業名	概要	期待効果	予算額
継続	健康経営セミナーの開催	県や関係団体と連携した健康経営の普及啓発	健康経営の実践による加入者健康度の増進	489,500 円
継続	新聞紙面等を利用したインセンティブ制度の広報	加入者に対して幅広く周知広報することで、制度に対する理解を深めてもらう。	各種評価指標の向上とともに、インセンティブ付与による保険料率の軽減を図る。	480,600 円
継続	各種申請書セットの作成	限度額申請・出産一時金申請・治療用装具申請に係る制度案内リーフレットと申請書一式をセットにして、医療機関で利用者に手渡ししてもらう。	<ul style="list-style-type: none"> ・医療機関からの積極的な案内 ・加入者に制度を広く周知 ・制度や申請書の送付に関する支部への問い合わせが減少 	332,600 円
継続	メルマガ・HP掲載記事原稿料	医師の専門的見地による医療・健康に関する情報を幅広く加入者に広報する。	加入者の疾病予防や健康増進に関する意識の向上	60,000 円
継続	職場の健康づくり応援研修会の開催	自治体や福祉保健所と連携して研修会を開催し、インセンティブ制度の周知や健康経営の普及啓発を行う。	協会けんぽの保健事業に取り組む事業者が増えることで、生活習慣病対策を実践する加入者が増加する。	108,800 円
			合計	1,472 千円

平成31年度高知支部独自事業④(保健事業)

4. 健診関連・保健指導委託

	事業名	概要	期待効果	予算額
継続	事業者健診HbA1c追加検査費	事業者健診データで、食後3.5時間未満に採血した方の血糖値に変えて、健診実施機関がHbA1cによる検査を実施し、その費用の差額を協会けんぽが健診機関に支払いデータ提供を受ける。	事業者健診データを取得する際の問題点(食後3.5時間未満の血糖値は取得できない)を、この追加検査費を健診実施機関に支払うことで解消。データ提供により健診受診率が向上。	756,000 円
継続	中間評価時の血液検査費	特定保健指導を継続して3カ月以上実施している方が受ける血液検査サービス。生活習慣改善の成果を確認できる。(希望者のみ)	特定保健指導実施の成果が3カ月後に確認できることで、モチベーションがアップし、保健指導プログラムの中断率の抑制効果が期待できる。	1,620,000 円
			合計	2,376 千円

平成31年度高知支部独自事業⑤(保健事業)

5. 健診及び保健指導に係る事務

	事業名	概要	期待効果	予算額
継続	保健指導に係る謝金・パンフレット作製費・機器購入費等	顧問医師への謝金、保健指導に係るパンフ、体重計の購入等	保健指導実施率及び、保健指導の質の向上	432,000 円
継続	特定健診集団健診の実施(10月～3月開催)	未受診者を対象としたオプション健診等の実施	健診無関心層の受診率向上、年度末最後の受診率向上対策	4,223,100 円
継続	自治体等と連携した特定健診とがん検診の同時実施	高知市在住の未受診者向けの特定健診とがん検診の同時実施	年度末最後の受診率向上対策、特定健診及びがん検診の受診率向上	1,860,300 円
継続	事業者健診データ同意書及びデータ取得の外注	外注業者からの勧奨業務	特定健診受診率の向上	4,510,000 円
継続	健診推進経費	生活習慣病予防健診、事業者健診同意書・データ取得	特定健診受診率の向上	4,144,000 円
新規	郵送式血液検査サービス	健診無関心層への働きかけ	特定健診受診率の向上	3,611,120 円
継続	32年度健診年次案内用受診勧奨チラシ	健診受診に係る案内の補足チラシを年次案内に同封	健診受診率の向上	999,900 円
継続	共同利用文書印刷	個人情報保護法の必要文書	保健指導の円滑実施	462,000 円
			合計	20,242 千円

平成31年度高知支部独自事業⑥(保健事業)

6. その他の保健事業

	事業名	概要	期待効果	予算額
継続	保健事業計画アドバイザー経費	各保険事業の効果的な実施方法を検討・実行するうえで、有識者のアドバイスをいただく	各保健事業実績の向上	123,000 円
継続	未治療者受診勧奨	保健指導用リーフレットの活用した受診勧奨	未治療者の受診	155,520 円
継続	重症化予防対策	高知県の糖尿病重症化予防プログラムに則って実施	医療機関未受診者及び治療中断者の受診	489,500 円
継続	Let's start! オフィスdeエクササイズ	事業所内での習慣的な運動の実施を奨める集団学習事業	運動習慣の定着により、事業所(加入者)の健康度アップ	684,000 円
			合計	1,453 千円